

2018年12月27日
記者発表資料
(県政記者クラブ、藤沢市、鎌倉市同時発表)

村岡・深沢のまちづくりと新駅の実現に向けた合意

～県、藤沢市、鎌倉市が、新駅設置協議会を設立～

神奈川県、藤沢市及び鎌倉市(以下、「3県市」という。)は、湘南地区における新たな都市拠点の形成に向けて、藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区の一体的なまちづくりを行い、併せて、JR東海道本線の大船駅・藤沢駅間に新駅を設置することについて、検討を進めてきました。

本日、3県市は、両地区一体のまちづくりと新駅の実現に向けて、基本事項に合意し、「村岡新駅(仮称)設置協議会」を設立しましたので、お知らせします。

1 主な合意内容について

- (1) 両地区のまちづくりについては、両市の費用負担により一体施行で取り組むこととし、2021年度の都市計画決定を目指す。
- (2) 新駅については、JR東日本にも整備費の負担を求めていくことや、3県市の基本的な費用負担割合について合意し、2019年度の概略設計着手を目指す。
 - 別紙1「藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅(仮称)設置に関する合意事項」
 - 別紙2「まちづくりと新駅の概要図」

2 村岡新駅(仮称)設置協議会について

- (1) 新駅の実現に向け、「村岡新駅(仮称)設置協議会」(会長:知事)を設立しました。
- (2) 今後、JR東日本に対して、新駅設置を要望するとともに、整備費の負担や概略設計の実施を求めていきます。
 - 別紙3「村岡新駅(仮称)設置協議会の概要」

問合せ先

神奈川県県土整備局都市部都市計画課
課長 福島 電話 045-210-6170
都市企画グループ 加倉井 電話 045-210-6178

神奈川県県土整備局都市部交通企画課
課長 星名 電話 045-210-6180
交通企画グループ 土屋 電話 045-210-6182

藤沢市都市整備部都市整備課
課長 八文字 電話 0466-50-3543
村岡地区整備担当 鈴木 電話 0466-50-3543

鎌倉市まちづくり計画部
次長 宇高 電話 0467-61-3836
鎌倉市まちづくり計画部深沢地域整備課
課長 杉浦 電話 0467-61-3760

藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと 村岡新駅（仮称）設置に関する合意事項

1 まちづくりについて

- (1) 藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区のまちづくりに一体施行で取り組むこととし、藤沢市、鎌倉市がそれぞれ応分の費用負担をすることを基本とする。
- (2) 両地区を連絡するシンボル道路等については、市道とし、自由通路、南口駅前広場及びシンボル道路は藤沢市、シンボル橋は鎌倉市が整備することを基本とする。

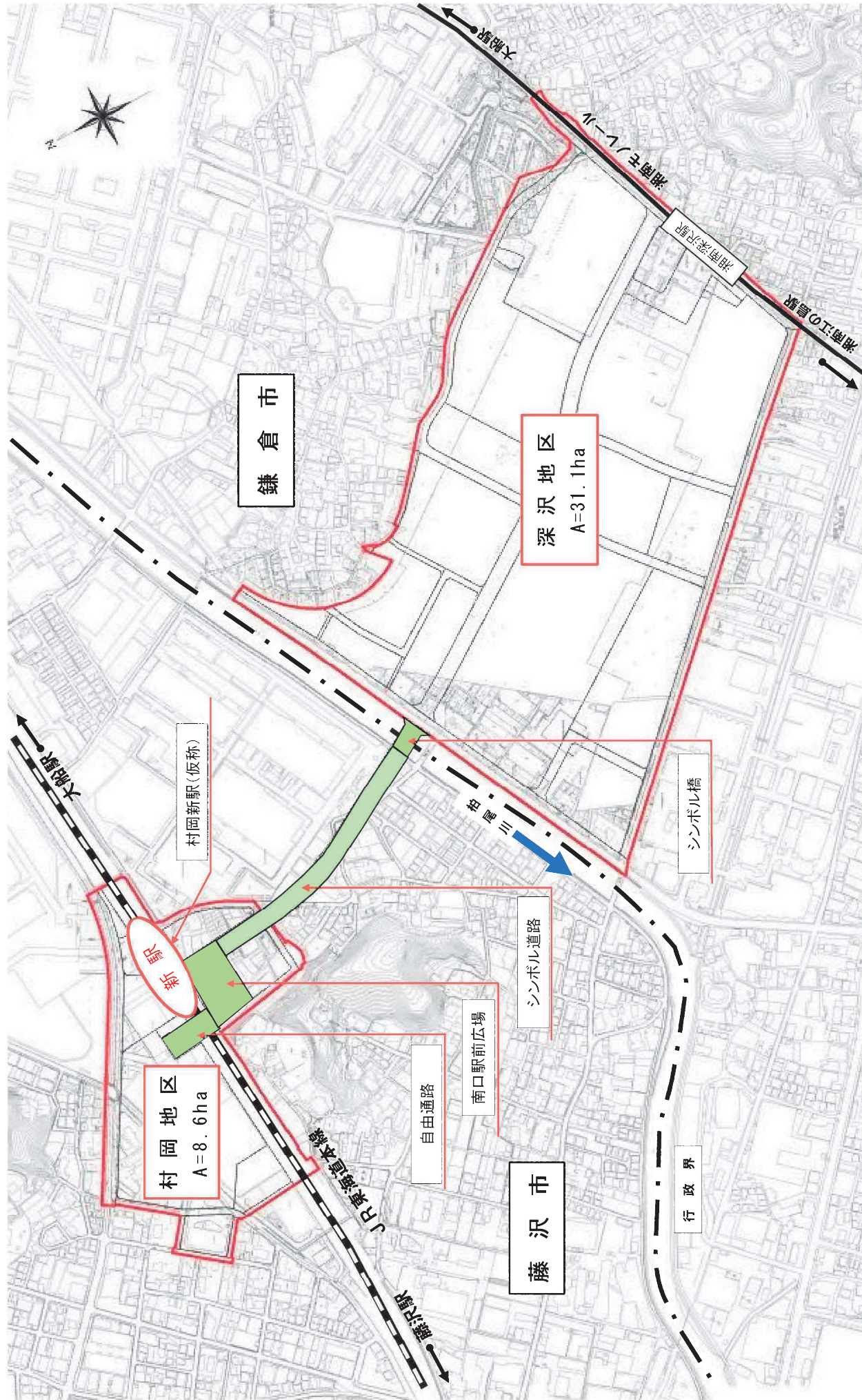
2 村岡新駅（仮称）について

- (1) 3 県市は、村岡新駅（仮称）設置協議会を設立し、J R 東日本に新駅設置を要望するとともに、戦略的新駅として整備費の負担を求めていく。
- (2) 神奈川県の新駅設置費用の負担は3割を基本とする。
- (3) 藤沢市と鎌倉市の新駅設置費用の負担割合は5：5を基本とする。
- (4) 新駅設置の検討熟度を高めるため、3 県市は、J R 東日本に概略設計の実施を求めていく。設計に要する費用は、3 県市がそれぞれ1/3 ずつ負担することを基本とする。

3 その他

- (1) 国交付金等の活用など、3 県市の負担軽減や平準化を図る方策について、検討・調整していく。
- (2) 村岡新駅（仮称）については、2019 年度の概略設計着手を目指す。また、一体施行の土地区画整理事業とシンボル道路等については、2021 年度の都市計画決定を目指す。

■まちづくりと新駅の概要図



村岡新駅（仮称）設置協議会の概要

1 目的

J R 東海道本線の大船駅・藤沢駅間（藤沢市村岡地区）における新駅の設置を図り、もって、持続可能な県土づくりに資する、新たな都市拠点（藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区）の形成に寄与することを目的とする。

2 設置日

2018 年 12 月 27 日

3 構成員

神奈川県知事（会長）、藤沢市長、鎌倉市長

4 事業

- （1）J R 東日本等への要望、陳情活動に関する事
- （2）新駅の設計・工事に関する事
- （3）新駅設置の費用負担に関する事
- （4）その他協議会の目的達成に必要な事項